

2007年(平成19年)11月4日

**マンダム CM 映像作品コンテスト**  
**『GATSBY 学生 CM 大賞 2007』大賞・各賞受賞者決定!**  
大賞は女子高校生! 韓国・香港の学生も上位入賞



GATSBY 学生 CM 大賞 2007 大賞 ムービングラバー 『Moving History ~ キミの偉人 ~』 編  
左:作品カット 右:大賞受賞者 西 麻里奈さん

株式会社マンダム(本社:大阪市、社長執行役員:西村元延)は、ギャツビー「ムービングラバー」を題材にし、6月13日(水)から実施してきた学生を対象とするCM映像作品コンテスト「GATSBY学生CM大賞2007」の各賞受賞者を発表、授与する授賞式を、11月4日(日)株式会社マンダム 大阪本社にて開催いたしました。

**「GATSBY 学生CM大賞2007」概要**

「GATSBY学生CM大賞2007」では日本・韓国・香港の3ヶ国にて、6月13日(水)から8月31日(金)の期間に作品を募集したところ、113校234組263作品(日本217作品、韓国32作品、香港14作品)をご応募いただきました。

9月12日(水)からは、一次審査を通過した30作品をギャツビー公式ホームページ(日本・韓国・香港PCサイト、日本ケータイサイト)に掲載し、一般の方の投票による一般WEB投票(二次審査)を実施。投票総数10,526票より選出された上位15作品が10月11日(木)最終審査会を経て、大賞・各賞が決定、11月4日(日)の授賞式にて最終審査結果発表とともに各賞の授与を実施しました。

尚、受賞作品の詳細および作品動画につきましてはギャツビー公式ホームページにてご覧いただけます。また、11月下旬には、授賞式レポートと各審査員の講評を動画及びテキストにて掲載予定です。

<ギャツビー公式ホームページ URL>

日本 <http://www.gatsby.jp/> (PC・ケータイ共通)

韓国 <http://www.gatsby.co.kr/>

香港 <http://www.gatsby.hk/>

## コンテストの目的と意義

ギャツビーは1978年デビュー。以後6回のリニューアルを繰り返し、いつの時代も世代は変われどヤング層に親しまれてきました。

彼らは、秘めた夢や希望の中で「挑戦」や「発表」の場を求めています。彼らが日常で使用するスタイリング剤を題材としたCMコンテストは、プロ志向の学生以外も非常に取り組みやすく、ターゲットの生活に密着した音楽・映像・ファッションを通してクリエイティブ心を思う存分発揮できる「遊び心に満ちた挑戦と発表の場」であり、これはマンダムから学生への支援・感謝そしてエールでもあります。

また、ギャツビーのコミュニケーションはWEBをハブとして多方面に展開しています。プロダクトを中心とした今までの一方的なコミュニケーションだけではなく、ブランドを起点として生活者との双方向の交信や、口コミやコミュニティを通しての生活者同士の話題増幅などを目的とした「知る・遊ぶ・使う・試す」などの体験型・参加型のコミュニケーションを重視しているからです。CMコンテストは、彼らと親和性の高いPCやモバイルを活用した参加型プロモーションで、ブランドとの絆を深めることがもうひとつの目的です。

### 「GATSBY 学生CM大賞2007」授賞式 実施概要

日時：11月4日（日）13時30分～17時00分

場所：株式会社マンダム 大阪本社

審査員：

#### 【審査委員長】

山崎 隆明（やまざき たかあき） 株式会社 電通 関西支社 クリエイティブディレクター

#### 【審査員】

黒田 秀樹（くろだ ひでき） CM ディレクター

辻中 達也（つじなか たつや） 株式会社 電通 関西支社 クリエイティブディレクター

藤田 明久（ふじた あきひさ） 株式会社 ディーツー コミュニケーションズ 代表取締役社長

酢谷 香織（すたに かおり） 株式会社 マンダム 宣伝課 PR 担当 課長

### 「GATSBY 学生CM大賞2007」総評（審査委員長 山崎隆明）

今年は去年に比べて、確実に表現のバリエーションが広がったように感じます。国内だけでなく韓国や香港からの出品作のなかにも、プロ顔負けの完成度の高いCMがありました。

一方最終審査には残りませんでした。映像の完成度に頼らず斬新な切り口で勝負する学生らしいCMも印象に残りました。他と違う視点・語り口はうまくいけば、コマーシャルの強さになります。表現として埋没してしまうのは、『商品のラインナップを説明しているだけのCM』。曲にあわせて映像を編集することで、カタチとしてはCMっぽくみえてしまうのですが、コアアイデアが不在なものや何が言いたいかわからないものは、コマーシャルとは呼べません。『広告は観てもらおう工夫が必要である』ということ。『広告はアートではなく、メッセージである』ということ。受賞者の皆様、おめでとうございます。

## GATSBY 学生 CM 大賞 2007 受賞作品

### 大賞

作品名 :ムービングラバー『Moving History~ キメる偉人~』編

グループ名 :東京都立工芸高校

代表者名 :西 麻里奈 【日本】

学校名 :東京都立工芸高等学校



商品の使用前・使用後』という企画の構造はよくありますが、みんなが知っている偉人をキャラクターにしたことで、とても楽しくて伝達スピードの早い表現に仕上がっています。またアイデアの発見だけで終わらずに高校生とは思えないほどディテールを作り込んでいる点も大賞に値すると思いました。それにしても去年といひ工芸高校の企画は、非常にレベルが高い。曲の使い方も絶妙でした。

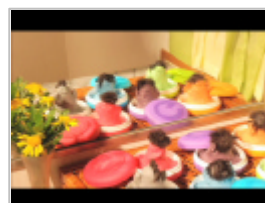
### 山崎隆明 賞

作品名 :ムービングラバー『もっと自由に!』編

グループ名 :東京造形×桑沢デザイン

代表者名 :山田 遼 【日本】 他 1 名

学校名 :東京造形大学



企画及びストーリーはありがちなものですが、クレイアニメという時間がかかる手法を使って商品をCMキャラクターにするという考え方、楽しくラインナップをみせるという姿勢は、マンガム主催のコンペティションにおいて評価に値するのではないかと思います。人物を表現するコマーシャルが多いなかで相対的に目立っていました。

### 黒田秀樹 賞

作品名 :ムービングラバー『Man with GATSBY』編

グループ名 :WINDSON

代表者名 :イ ヒョウシン(LEE HYOSHIN) 【韓国】

学校名 :漢陽大学



全体にモノトーンにすることで、ムービングラバーの色を際立たせている点など、とてもよく計算されています。導入部分のアップサイズの連続による編集はほとんどプロの仕業です。1人目と2人目がすれ違うところで音楽をカットし、足音のSE(効果音)でつなく構成も効果的。さらに、洗面台にワックスが落ちる事でラストへの布石を演出。2人目の男が変身した後に指の跡を残して、余韻を感じさせるエンディングは秀逸です。大賞を争った作品です。彼の次回作にも期待したいものです。

### 辻中達也 賞

作品名 :ムービングラバー 『オヤジの1週間』編

グループ名 :オヤジの会

代表者名 :若梅 千紘 【日本】他 10 名

学校名 :日本工学院八王子専門学校



この作品の良かった点は、まずオヤジのアニメキャラで他の作品にはないインパクトがあった点です。多くのCMの中でまず印象に残るといことは、大切なことだと思います。次に6種類の商品機能をオリジナル曲でコミカルに分かりやすく表現できています。オヤジの残り少ない髪の毛でスタイリングの特徴を的確に表現できていました。(すこし哀愁を感じましたが。)学生らしいチャレンジ精神とオリジナリティを感じました。

### 酢谷香織 賞

作品名 :ムービングラバー 『Stand Up』編

グループ名 :Waru GAKI

代表者名 :布江 剛士 【日本】他 7 名

学校名 :東京フィルムセンタースクールオブアート専門学校



短い時間の中で、6つのムービングラバーがテンポよく紹介され小気味よいCMです。ラウンドごとにワックスの特性がうまく絡み合い、小さな洒落たドラマ。特にこのCMで感じたのは、つい映像の技巧に走り演技はなおざりになりがちな学生CMですが、この作品では出演者の演技 表情もいい! ボクサーもセコンドもリングのコーナーという狭いアングルの中で、真に迫るリアル感とおかしさがあります。企画・技術・演技のバランスのとれた秀作です。

### 藤田明久 賞 (モバイル賞)

作品名 :ムービングラバー 『女の子の悩み』編

グループ名 :當下 夢 回憶

代表者名 :チュン カ ト 【香港】 (CHEUNG KA TO)他 5 名

学校名 :香港中文大學



携帯電話を活用したマーケティング手法の一つがバイラルです。この作品を見た男の子も女の子も思わず人に見せたくなる不思議な力を持っています。特に、選んだ曲と映像の雰囲気、応募作品の中で一番マッチしていた点が大きな力を生み出しています。演出がとても上手ですね。ただ、映像処理の品質が低いので、もっと高いレベルを追求する努力をしましょう。

各賞受賞作品 受賞者の画像データを下記アドレスにてご提供しています。ご使用の際はご連絡ください。  
ギャツピー学生CM コンテス画像提供サイト <http://www.mandom.co.jp/gbcmp/>

#### 本件に関する問い合わせ先 株式会社マングラム PR 担当

本 社	酢谷 (すたに)	TEL 06-6767-5013	FAX 06-6767-5041
東京オフィス	下川 (しもかわ)	TEL 03-5204-9085	FAX 03-5204-9086